

備前市事務事業評価表

事務事業名	診療事業（日生病院）	コード	02-02-07-08
		担当課・係	市立日生病院 事務部
		担当者	岡 正
事業実施期間	平成17年～	電話	(0869)72-1111
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	健康でやさしさあふれるまちづくり	
	中項目(基本施策)	健やかで生き生きしたまちづくり	
	小項目(施策)	病院事業	

事業について	
目的 (何のために)	安心・安全で良質な医療を提供する
対象 (誰・何を対象に)	病気の予防及び治療を必要とする人
内容	各種診療業務

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など(単位)	18年度 回数など(単位)	回数など(単位)
入院患者数	15,721 人	27,618 人	
外来患者数	39,780 人	55,139 人	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	399,176	国庫補助金等		直接事業費	593,204	国庫補助金等	
	人件費	388,790	受益者負担		人件費	458,740	受益者負担	
	合計	787,966	一般財源等	787,966	合計	1,051,944	一般財源等	1,051,944

必要人員	43.30 人	78.65 人	
結果指標名	入院患者延数	入院患者延数	
結果指標量	15,721	27,618	
単位	人	人	
対前年比	-	175.68%	0.00%
活動にかかるコスト	447,016,015 円	645,183,178 円	
単位当たりコスト	28,434 円	22,905 円	
結果指標名	外来患者延数	外来患者延数	
結果指標量	39,780	55,139	
単位	人	人	
対前年比	-	138.61%	0.00%
活動にかかるコスト	274,383,106 円	352,764,325 円	
単位当たりコスト	6,898 円	6,809 円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	安心して安全な医療が受けられる環境を整え、良質で適正な医療の提供により患者数の増加を図る。		
成果指標名	入院・外来患者延数の推移	式又は説明	入院 = 43人/日(療養) 入院 = 36人/日(一般) 外来 = 170人/日(本院) 11人/日(頭島)、2人/日(大多府)
	17年度	18年度	
成果指標量	入院 = 93.1 外来 = 93.1	入院 = 163.6 外来 = 129.0	
対前年比	-	149.11%	#VALUE!
到達目標値	入院 = 16,884人 外来 = 42,728人	到達目標年度	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等： 備前市国民健康保険病院条例	妥当性評価<A~E>	B
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	課題認識	地域医療の拠点病院として、住民の健康保持重点を置いた医療サービスを提供していくために、診療科の充実を図るなど少しでも受益者のニーズに近づけるべく努力する必要がある。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である		
市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である			
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E>	C
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	課題認識	材料費等の価格交渉を随時行うことによりコストの削減を図る必要がある。
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい		
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E>		
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識	職員との接遇研修、サービス向上委員会などの各種委員会により患者サービスや職員の資質向上を図り、信頼できる病院としてのイメージを定着させるべく努力する必要がある。
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

平成19年度状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明 5月時点での入院・外来患者数の状況は前年度より僅かに増加傾向にある。なお、19年度から政府管掌の検診事業を実施したことにより患者数の増加が見込まれる。	
目標値	結果指標量	30,222	結果指標量	56,350
	成果指標量	86,572		

総合評価	地域医療の拠点病院としての役割を果たすため、診療科及び診療内容の充実を図りながら患者サービスの向上に努め、信頼される病院となるよう引き続き努力していく必要がある。	評価区分<A~E>	C
------	---	-----------	---

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
--------------	---	---

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	備前・日生・吉永3病院の連携を充実させる	毎年	患者1人当たりのコスト削減
有効性	接遇などの職員研修を実施することによる患者サービスの向上	毎年	患者数の増加